

公表

事業所における自己評価総括表 <児童発達支援>

○事業所名	古河市児童発達支援センターぐるんば		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	120名	(回答者数) 85名
○従業者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・体制が整備されていること	・支援に十分なスペースや部屋数を確保しています。	・設備環境や人員配置を維持し、充実させていきます。
2	利用者の満足度が高いこと	・お子様の評価や見立てを繰り返し行っています ・支援後に職員間で振り返りを行い多角的にお子様を理解するよう心がけています。	・保護者の方と支援内容について共通認識を持てるよう積極的にコミュニケーションをしていきます。 ・保護者の方が感じたことや気づいたことなどを支援に反映できるようにしていきます。
3	支援の提供が適切に行われていること	・お子様の状況が変わるたびに再評価を行っています。 ・支援の振り返りを行い、職員間で意見交換をしています。	・質問紙など科学的に裏付けのある評価方法を検討します。 ・保護者の方の意見を積極的にうかがっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援の場やきょうだいの交流の機会を充実させていくこと	・保護者支援として給食会やぐるんばカフェを実施しています。 ・対面型のサービスのため、業務の自動化や効率化が難しく、様々な事業を展開するための時間確保が課題です。優先順位を考えながら実施の検討をしています。	・給食会やぐるんばカフェを継続的にを行い、内容の充実を図ります。 ・きょうだいの交流会については、利用者のニーズやきょうだい構成等を確認したうえで、実施可能かどうか検討していきます。
2	非常時の対応やマニュアル整備など、センター体制に関する情報発信。 (わからない という回答が多い)	・マニュアルに関しては、お子さんやご家族に直接影響する事柄ではなく、普段は意識されない部分と考えられます。	・ホームページ・LINE・SNS等を活用し、情報発信を強化していきます。
3	専門職スタッフ数が十分でない面がある	・センターの施設基準を満たす職員数は確保していますが、職種によっては1人のこともあり、サービス提供に影響しています。	・サービスの質を維持するため、計画的な人材確保を目指します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果<児童発達支援>

事業所名	古河市児童発達支援センター ぐるんぼ
------	--------------------

公表日 令和8年 3月 13日

利用児童数 120人

回収数 85

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	83	1	1	0	・子どもたちが大きな動きを全員がしている時などは、危ないと感じる時もあります。そうでなければ十分な広さだと思います。	・予め職員間でお子さんの活動量を踏まえた遊具設定を考え、安全に活動できるよう努めています。不安を感じた場面などありましたら担当者までお伝えください。改善を検討してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	71	6	3	5	・保育士さんは足りていると感じるがST、PT、OTの専門の先生は不足していると感じる。 ・利用者数が多く、1ヶ月に2回しか利用できないので効果を感じにくくありません職員の方をもっと増やして日数を増やして欲しいです。 ・一人一人に先生方がいてくださり安心です。 ・年間通して月3回の個別療育を確保していただきたい。	・お子さんに合った支援が提供できるよう専門職の配置等を引き続き検討していきます。 ・センターとしてより多くのお子さんを受け入れていく観点から、療育の頻度につきましては何卒ご理解ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	73	6	0	6	・部屋自体は広いが、1つの部屋の中に色々な物が多いように感じる。始まりの会や課題、座って行うことをやる部屋と体を動かす部屋が別にあるか、メリハリのつく空間があるとさらに良いと思う。	・お部屋の場所によっては運動の部屋と机に座って取り組む部屋とを分けることができますが、設備の都合上、部屋を新たに設けることは困難です。しかしながら目隠しのカーテンを置くことや、パーテーションで区切るなど、できる工夫がないか検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間になっていると思いますか。	80	2	0	3		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	79	5	0	1	・通い始めてから成長を感じる部分が増えても感謝しています。 ・集団療育なので個人の悩みに直結しているのは若干気になるところ。	・お子さんの成長を感じられているお言葉をいただき、励みになります。 ・集団療育ご利用でも、できる限りお子さん一人一人に寄り添った支援をしていきたいと考えております。小さなことでも遠慮なさらず、担当者にお話してください。対応を検討してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	74	0	0	7		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	83	1	0	1	・子どもにとって苦手な部分や得意な部分を把握した上で支援していただいています。家庭でもどのように接すれば良いか、練習の仕方などのアドバイスもいただけるので親の不安に感じている部分にも寄り添っていただき親子で適切な支援をしていただいていると感じています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	79	3	0	3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	82	2	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	74	5	0	6	・私から見たら毎回同じようなことをしているように見えますが、先生はプログラムを工夫して下さっていると思います。けど、それが素人目線で見分けるわけではないです。	・保護者の皆様と関わりの目的・意図を共有するため、どのような目的・意図で行っているかについて、担当者のお見立てや考えをお伝えしていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域でのこどもと活動する機会がありますか。	57	5	13	10	・他園のお友達や支援センターで出会ったお友達と定期的に遊ぶ機会があります。 ・幼稚園と併用しているため、未就園の子が交流しているかは分からない。 ・地域で他のお子さんとも活動する機会をもう少し増やして欲しいです。	・センターでは未就園のお子さんを対象として保育所交流を実施しており、今後も継続予定です。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	85	0	0	0	・毎回、丁寧に説明していただいています。		
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	84	0	0	1			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	71	5	1	8	・ペアレントトレーニングを頻繁に実施して欲しいです。その際子どもを連れていかないといけないので、預かっていただけると行きやすいです。 ・あったが参加は難しいものだった	・お子さんの支援と同じくらい、ご家族に対する支援も重要と考えています。限られた人員でどのように貢献できるか引き続き検討してまいります。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	79	5	0	1	・月に2回の利用なので間が空いてしまいう事があるが共通理解の場を設けてくれている。 ・いつも「最近はどうですか？」など積極的に日頃の様子を聞いて下さり、相談しやすい環境を作って下さっていると感じます。 ・あるがもっとあって良いと思う	・療育場面だけでなく、LINEを積極的に活用してお子さんの情報共有をしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	75	9	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	81	2	0	2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	48	8	5	24	・きょうだい児の交流会は聞いたことがない。 ・きょうだいへの支援は特にはないと思う。 ・保護者が孤立しないように交流の機会は多いですが兄弟姉妹の交流機会があるのかはわからない。	・きょうだい支援の場は、ご利用者家族や地域のニーズを踏まえ、検討してまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	73	2	1	9		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	77	6	0	2		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	66	5	1	13		ぐるんばだよりは年6回、隔月で発行しています。また、市ホームページにはセンターの取り組みが掲載されていますので是非ご覧ください。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	79	2	0	4			
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した支援が実施されていますか。	57	4	0	24		・各種マニュアルはすべて策定されており、センター内でも定期的にマニュアルの確認や見直しをしています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な支援が行われていますか。	46	1	2	36		・センターでは、年計画を立てて、避難訓練や消火訓練を行っています。ぐるんばだよりでもお知らせします。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	71	1	0	13		・安全確保計画は策定されており、みなさまの安心のためにもお知らせ等で周知してまいります。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	68	3	0	14		・軽微なものであってもお子さんに何らかの事故があった場合には、保護者の方に状況を説明するようにしています。センター長や管理者にも報告し、適切に対応できるように努めています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	84	0	0	1		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	81	4	0	0		
	29 事業所の支援に満足していますか。	81	3	1	0	・もう少し回数通えると助かります。 ・いつもありがとうございます。大満足です。 ・子どもも楽しく活動できており、大変満足しています。年間通して月3回の支援を受けられるようしていただくと更に嬉しく思います。	

公表

事業所における自己評価結果<児童発達支援>

事業所名		古河市児童発達支援センターぐるんぼ		公表日		令和8年 3月 13日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		15	0	・療育人数によって部屋を検討し対応しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		12	3	・お子さんに対し、大人が担当につき、お子さんに合わせて療育を行っています。	・引き続き専門職人員の確保を進めています、
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		14	1	・状況により柵などで仕切り、狭い空間を作って注目しやすい環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		15	0	・療育前に、怪我に繋がるものはないかの確認をしたり、養育後には使用したものを片付けたり整えたりして安全に利用できるように心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		15	0	・お子さんが不安になった時などは、空いている部屋に移動し、落ち着けるよう場所を確保しています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		14	1	・半年ごとに会議を行い目標に変更があるか検討したり、療育後に関わった職員で振り返り。お子さんの情報を共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		14	1	・保護者の方の意向に添えるよう心がけています。	・事業所評価でいただいたご意見を踏まえ、業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		15	0	・療育前後に職員間で情報共有できる場を設けたり、行事前は方向性を共有できるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		15	0	・外部評価を行い、その評価を業務改善につなげるよう努力しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		15	0	・内部研修も定期的を実施していますが、研修担当者を決めて職員が外部研修にも参加できる機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		15	0	・作成した支援計画は会議等を通し、立案し作成したものを保護者と共有しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		15	0	・保護者の方と会話をすることを意識してその時の困り感について一緒に検討し、お子さんの成長にあった支援計画を作成するようにしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		14	1	・支援会議で関係する職員同士が情報を共有したうえで個別支援計画等を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		15	0	・お子さんの支援目標を職員間で共有し、目標にあった。関わりができるように努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		13	2	・家庭や通園されている場所でのお子さんの状況を確認し、場合によっては訪問し、様子共有できるようにしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		14	1	・家族の困り感に寄り添ったり、園訪問などでお子さんの様子を保護者の方と共有したり園の先生へのアドバイスをしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		14	1	・グループ療育は担当全員でプログラムを検討・立案しています。 ・月が変わるごとに活動を検討し、お子さんの成長にあった療育内容を検討しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		14	1	・複数職員で検討しており、お子さんの様子に合わせて継続するものもありますが、其中でお子さんの興味に合わせ変化も加えています。	・活動プログラムが固定化しないよう工夫していますが、様々な活動をまんべんなく行えるよう見直しを継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		15	0	・お子さんの状況によっては、グループ療育とST、グループ療育とPT、といったように個別と集団を組み合わせ支援する場合もあります。 ・お子さんの興味関心に合わせ、参加しやすいよう活動内容を検討しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	・療育前に職員間での役割を確認し、状況にあった役割を担えるよう連携を図っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	0	・療育の内容を振り返り、次週の活動内容を検討しています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	1	・担当以外が関わる時も記録をし、お子さんの変化などを担当や関わる職員と共有できるようにしています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・定期的にモニタリングを行い、お子さんに合う支援計画を見直しています。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	1	・児童発達支援管理責任者や直接支援する担当者が参画できるようにしています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0	・未就園の方の健康診断や保育所交流などで連携を図れるように努めています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・お子さんが通う園へ訪問し、園の先生方とお子さんの特性などを共有しています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	0	・児童発達支援終了時には、つなげるシートを作成し、移行先に情報提供しています。 ・就学に向けて、就学先に配付できるようお子さんの状況に合わせて作成しています。	
	28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	1	・令和6年度から事業所向け職員交流会・研修会を年に2回開催しており、各事業所と連携を図る機会を作っています。	
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	・ペアレント・プログラムを実施の際には、県の発達障害者支援センターの助言を得ています。 ・外部研修が受講できるよう予算の確保や時間の調整を行っています。また、保育士については、療育アドバイザー制度により、月に2回、外部講師が指導し、さらに、年に1回は、技術講習会として、外部作業療法士による発達支援の助言を受ける機会を設けています。	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	12	3	・自立支援協議会にはセンター長が、障がい児支援専門部会には係長が参加し、それらの内容はセンター内で共有しています。	
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	15	0	・未就園の方が園での雰囲気を知ることができるよう、保育所交流などで地域の保育所との交流できる機会を設けています。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・保護者同伴での通所のため、毎回保護者とお子さんの状況について情報共有しています。 ・家での困り感などがある場合は保護者の言葉に耳を傾けるようにしています。	
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	・ペアレント・プログラムを実施しています。 ・家族支援プログラムなどをより多くの人に情報提供を行っています。		
35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	1	・重要事項説明書等に記載されている内容の変更がある場合は、保護者に丁寧にわかりやすく伝えるようにしています。		
36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・作成時に保護者に内容を共有し、意向を確認しています。 ・現在の困り感などに耳を傾け、そこに合わせた支援内容を作成するようにしています。		
37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0	・作成した支援計画を提示し、目標に合わせた内容の意図を説明し、同意を得た上で支援提供をしています。		
38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・担当以外でも関わる職員が保護者の声に耳を傾け、適宜相談を受けられる体制を整えています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	4	・保護者交流の機会は設けていますが、きょうだい同士で交流できる機会までは設けることができていません。 ・ぐるんぱカフェや給食会などを通し、保護者同士の交流する場には職員が入り、話題提供をしています。	・保護者会やきょうだい児支援については、ニーズを把握したうえで検討を継続します。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・相談内容に応じた職種が対応できるよう体制を整えています。 ・その場で対応できない場合でも、電話等で対応するようにしています。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・状況に合わせ、全体周知はLINEなどの通信機器を利用し発信できるようにしています。	・ホームページの活用方法について検討していきます。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・利用児や保護者が参加する企画等の写真をぐるんぱだよりなどに掲載する場合は、保護者の同意を得ています。 ・支援計画など個人情報が記載されているものも取り扱いには配慮しています。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・お子さんにはわかりやすく伝えたり、見てわかる視覚提示などお子さんにあった伝え方を検討しています。保護者にもお子さんがどういう方法なら伝わりやすく行動に移しやすいか伝えるようにしています。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	1	・児童発達支援講演会など、保護者の方だけでなく、チラシやポスター、広報、ホームページ、古河市のライン、などより多くの方に届くよう広報活動を行っています。	
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した支援を実施しているか。	15	0	・職員間で研修をしたり、療育参加者にもアナウンスして帰宅喚起訓練などを行っています。 ・防犯訓練など様々な状況を想定し、訓練を行っています。	
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な支援を行っているか。	15	0	・療育内で地震、火災、水害、防犯などを想定して避難訓練を実施しています。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	1	・利用開始時にお子さんの生活状況を記載してもらっています。年度切り替えで保護者に変更がないか確認してもらっています。	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	2	・医師の指示書まで確認していませんが、保護者には必ず確認しています。 ・医師の意見書に基づき、お子さんのアレルギー表の記載をお願いしています。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や支援、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	・療育室や遊具などの状態を確認し、定期的に専門業者による遊具点検を行い、安全に療育ができる環境を整えています。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1		
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・ヒヤリハットが起きないように目指しているが、起こり得た時に未然に防げる方法を職員で共有し、再発防止に努めています。	
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0			
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	2	・身体拘束は実施していない。ただし、実施する必要がある場合には、個別支援計画に記載し、どのような方法で行うかなどの詳細の記録を作成することになっています。		